



《学校教育目標》 「自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成」
「かしこく」自ら学ぶ子 「やさしく」心豊かな子 「たくましく」やりぬく子

児童朝会で地域の人の話を聞きました！



7月2日(月)の児童朝会では、「北川昔を訪ねる会」の森山上志さんにお話をいただきました。子どもたちが北川のことをもっと知り、故郷を愛するようになってくれることを願い、計画しました。学期に1回地域の方のお話を聞かせていただこうと考えています。

今回は、北川小学校の「おや、あれは何だろう？」の3つについて教えていただきました。1つ目は、校門付近にある二宮金次郎の像、2つ目は、プールの西側にある三浦益一郎さん

(38年間村長を務めた)の石碑、3つ目は、外国との戦争で亡くなった141人の方の忠魂碑について分かりやすく説明していただきました。低学年の子どもたちにもよく分かるお話でした。また、森山さんから子どもたちに、「じいちゃんたちでも、『おや、あれは何だろう。』と思ったことを調べているので、北川小学校のみなさんも『あらっ、なぜ、どうしてだろう。』と思ったことがあったら調べてほしいなと思います。」とメッセージをいただきました。

6年生から「北川のことを知っていると思っていたけど、もっと知りたいなあ」とか、「分からないことがあっても、諦めない気持ちに変わってきました」という感想が返ってきました。今回の朝会は大成功でした！次回もお楽しみに



6月の生活テーマ「思いやり」の成果と課題

6月の生活テーマ 6/25～6/29

思いやり

週末には98人のうち

76人

の人ががんばりました



それぞれの学級では、こんな「めあて」でがんばりました。

- みんなのことを考えて行動する。
- 「ありがとう」を言おう。
- ふわふわ言葉を使おう。
- ちくちく言葉を言わないようにする。



6月の生活テーマの達成率は77.6%でした。優しい声掛けをしている場面をよく見かけますが、自分がイライラしているときには、思わずちくちく言葉が出ています。子どもたちの心が満たされた状態になるよう、学校でも努力していきたいと思えます。ご家庭でも、ご協力よろしくお願ひします。